

第3回定例会発言要旨

内容	発言者	発言要旨
・提言の優先度について	小田議長	7つの提言は全部が重要だが、条件が整わないと進みにくいものがある、それが優先度が低い「グループ3」に入るという理解の仕方になっている。優先度という形で整理することで、これから先の都立図書館の具体的な計画に役立てやすいのではないかと認識した。
・二次元バーコード等を用いたサービス	内田委員	来館者が多い展覧会、企画展などで二次元バーコードのサービスを行うときは、来館者の動線をよく考えないと、歩きスマホでぶつかったり、人が密集したりすることがあるので注意が必要である。
・特別コレクションギャラリー	内田委員	特別コレクションギャラリーは、IIIF（トリプルアイエフ）への対応を先に考えると前に進みにくいので、後から上書きして載せるとしたほうが、検討が早く進むと思われる。メタデータに関しては、著作権処理やMARC提供会社との調整に時間がかかるようであれば、その対象外の資料から進めるとよい。
	内田委員	ジャパンサーチはデータの利活用のためのプラットフォームなので、実際にデータを提供するときには、あちこちで使われることを踏まえて方針を検討するとよい。
・デジタルサイネージブックシェルフ（電子書架）	内田委員	新型コロナウイルスの影響で、タッチパネル式デジタルサイネージはどの施設でも利用停止になっている。ブックシェルフ（電子書架）については、タッチパネル式デジタルサイネージから、来館者が持っているデバイスへの変更という観点で、検討を急ぐものではないか。
・新型コロナウイルスの影響について	江草委員	前回の作業部会は1月頃で、まだ新型コロナウイルスの影響が少ない時期に検討した。定例会や部会では実際に議論していなくても、この提言のどこかに新型コロナウイルスの観点をどこかに入れられるといいと思う。
	久我委員	提言の非来館サービスについては、「非接触志向が高まっている中で」という枕詞を入れると、新型コロナウイルスの影響の下、ずっと入ってくる提言になると思う。